



佐土原ロータリークラブ週報



ロータリーは
分かちあいの心

2007-2008 年度 R I テーマ

[世界理解月間]

会 長：梶田 與之助 幹 事：郡司 武俊
副 会 長：太田 忍 会報委員長：岩切 徳夫
会 計：垂水 敏雄
事 務 局：〒880-0211 宮崎市佐土原町下田島 11703-18
TEL：0985-62-7833 FAX：0985-62-7877
携 帯：090-9596-6114 吉野由里子
例 会 日：毎週水曜日
例 会 場：ハイビスカス ゴルフクラブ
TEL：0985-73-0109

第 1013 回 平成 20 年 2 月 27 日 (水)

3月5日(水)・・・会員卓話「鬼塚圭司君」
3月12日(水)・・・会員卓会話

本日のプログラム

- 1. 点 鐘
- 2. ロータリーソング
「手に手つないで」
- 3. 会 長 の 時 間
- 4. 幹 事 報 告
- 5. 出 席 報 告
- 6. 委 員 会 報 告
- 7. ハッピーBOX 披 露
- 8. 自 由 討 論
- 9. 点 鐘

の横行を許さない方策を考えなければなりません。
2006年が最初で、青森県の3戸の農家が被害に遭いました。しばらく鳴りを潜めていたが、今年1月18日付で再び登場しました。「福岡県のミカン農家が被害の疑い」の一報が一端となり、次々と全国から報告がありました。「お宅の米(野菜、果実)はおいしいと評判だからうちで取り扱いたい。サンプルを送ってくれないか」と、言葉巧みに取り込み、小額は支払うが徐々に量を増やして代金を踏み倒します。会社を信用させるために大手企業の名を出したり、いかにも立派に見える会社紹介資料やホームページをみせたり、あの手この手を使います。商売にたけた商工業者でも引かかるほどだから、よほどでないで見抜けません。

この事犯では残念ながら泣き寝入りをする場合が多いようです。事が多く、中には自己破産手続をとって逃げようとするものもあります。弁護士によると裁判で詐欺を立証するのは容易ではなく、勝訴したとしても現実には債権を回収することは難しいと言われています。

対応策としては自己防衛が一番のようです。まず相手を疑ってかからなければならぬことは残念ですが常に危機を意識しなければなりません。量が増えてきたら、料金引き換えにするとしたようなことをしなければなりません。相手を信用し過ぎず調査することが必要になってきます。

犯罪者は次々と悪知恵を働かせて巧妙な手口を考えます。もっと周知に力を入れてすきを与えないことが大切ではないでしょうか。

第 1012 回の記録

平成 20 年 2 月 20 日

★会長の時間 梶田 與之助 君
皆様こんにちは、本日は打尾1012回の例会です。先ず最初にご紹介申し上げます。

ゲスト卓話をお願い申し上げましたところ、快くお引き受け頂きました。パストガバナーの菊池平様です。何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、先日17日(日)のインターシティ・ミーティングも無事に終わり、岩切ガバナー補佐、林厚雄実行委員長はじめ委員会の皆様、会員の皆様大変お疲れ様でございました。今後は5月17日(土)の創立20周年式典が、藤堂孝一実行委員長を中心に皆様と共に佐土原ロータリークラブが一致団結して取り組むべき最大のイベントになります。

「取り込み詐欺」について
「取り込み詐欺」という言葉が最近、紙面を騒がしています。商品を納入させて代金を支払わないまま逃走するのがこの詐欺の手口です。実は私共の商工業界では数年前から問題になっていました。

その為、指導機関や行政などが対策に取り組んでる訳ですが、遂に農業分野でも出始めたこととなります。

今のところ農業分野では、1件の被害額が数十万円ですが、額の問題ではなくこうした犯罪

★ 幹事報告 郡司武俊 君

- 例会変更届け・・・無し
- 多良木ロータリークラブより・・・
40周年記念式典登録料振込先の訂正お詫びとお願い届く
- 夜間例会「会員増強・奉仕プロジェクト合同」参加の確認をお願いします。
- 3月26日(水)観桜会段取りを福井君よろしくをお願いします。

★ 委員会報告 IM 実行委員長 林 厚雄 君

「IM の御礼」

先日の I.M はお疲れ様でした。皆様のご協力のお陰様で無事終了することが出来ました。

今回の I.M の準備の中で実行委員長である私の努力不足でクラブ内外に色々ご迷惑やご心配をお掛けいたしました事をお詫び申し上げます。しかし、本来の I.M の目的でありますロータリーの勉強会としては、田中毅パストガバナー様の講演のお陰で成果があったと思っています。田中毅パストガバナー様の「職業奉仕・倫理と実践」の講演の内容は大変良いものがありました。その理念を各クラブに応用して頂き、また一番は自分の会社の経営に役立てて頂きたいものです。

講演の中で大変分かりやすい内容で、四つのテストを引用して田中毅パストガバナー様をご紹介された理念をご紹介しますと下記の通りです。

1. 真実かどうか→ 1. 事実かどうか
2. みんなに公平か→
 2. すべての取引先に公平か
3. 好意と友情を深めるか→
 3. 信用を高め取引先を増やせるか
4. みんなのためになるかどうか→
 4. 取引先の利益を増やせるか

★ 20 周年記念式典実行委員長 藤堂孝一 君



各クラブへの式典案内状を今月中に発送する予定です。

記念講演・その他の確認も済ませます。
記念植樹の手配等を村岡博君よろしくお願ひします。

★ I.M (インター・シティーミーティング) 終了の御礼挨拶 岩切正司ガバナー補佐

林厚雄実行委員長をはじめとした、委員会の皆様、会員の皆様、またクラブ内外の皆様のすばらしいロータリー精神に支えられまして、お陰様で、無事大役を終えることが出来ました事を心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

★ ゲスト卓話 菊地 平 パストガバナー



この度は、卓話の機会をいただきまして、ありがとうございます。

今月は世界理解月間でありまして、それにちなんだ話を、指定いただきました。

私はガバナーとアクティングガバナーの時、地区内クラブの周年記念行事に必ず参加をして、一貫して、お話ししたのは「先人の後を追うな！先人の求めしものを求めよ！」とすることでありました。前段にロータリーの哲学と歴史についてお話をさせていただきます。

それは、02年～03年 R I ラタクル会長の言葉に触発されたからです。

彼は、ロータリーの強みと弱み、弱点をこのように、言っていました。強みは「ロータリーは世界の奉仕団体に先駆けて、ポリオ撲滅の運動を初め水保全・飢餓貧困対策・識字率向上運動を世界各地で、展開したことである」と

そして、弱みとは「第一に、運動の継続性の欠如ということである。2番目には、ロータリーはロータリーの哲学を忘れ去っている」と言ったのです。R I 会長が現職会長として勇気を持っての重みのある重大な発言であったと思ひ原点回帰とは言いますが、現状のことを簡単に話してみます。

すでに、ロータリーの友1月号に、掲載されていますように、ビルゲイツ財団から、R I 財団に対して1億ドルのポリオプラス運動に寄付をいただきました。それを受けて R I は会員から、同額寄付を集めるとホームページに載せたのであります。1億ドルの寄付がもらえるほどの、世界的プログラムであるということなのでしょう。ロータリーと財団の総予算は2億4千万ドルでありますから、この寄付がいかに大きいかお判りと思ひます。

かつて、02年に同じように、ビルゲイツ財団は4000万ドルを R I 財団に寄付をして、R I はその倍額8000万ドルを会員から集めました。日本はその内、1600万ドルを引き受けて、3カ年にわたって、皆さんは1万円づつ寄付をしてきました。時の三木ガバナーは最終年度にあたり、もうポリオ寄付はありません、と言ったのですが、次年度安満年度から、このことによって、また寄付を喜んですることになります。

どう割り振られたのか判りませんが、私が心配するような金額ではありませんでした。1クラブ1000ドルを3年間にわたっての寄付と決りましたが、我が地区の小人数クラブには負担が多いので、人頭割り、分担金になると思ひます。

ポリオは1979年フィリピンで最初のワクチン接種活動が行われて以来、ロータリーは500万人の世界の子供たちの命を救ったといわれています。

支援した金額は約6億5000万ドル邦貨で約7,540億円、奉仕したロータリアンは延べ100万人になります。

1985年125カ国に蔓延していた、ポリオは現在6カ国、その99%が無くなったといわれていますが、紛争地の国にはまだ根深く存在しています。そして何しろ子供は次々誕生するわけですから、根絶には、まだまだ時間と費用がかかることになります。

国際ロータリー研究会に参りますと、この情報が良く判ります。ポリオ接種のためには、道なき道を歩いて、雨期には川となる道を水につかりながら歩き、時には部族間闘争のなかで、身の危険にさらされての奉仕活動だと会員が発表していました。村に入って、その部族酋長の協力を得なければ、接種もできないし、子供も集まらないとのことでした。

奉仕と言っても命がけのものであることが、良く判るスライドなどを見せられて、ロータリーは偉大だと思つづく思つたものでした。

世界社会奉仕は、今や世界的、巨大プロジェクトとなり、世界の支持を受けているのだということ強く認識していただきたいと思ひます。

この世界から認知された、プログラムの継続、成功のために、ロータリーは会員の増強と財団寄付ということをするようになるのです。

ここに至るまでの歴史を簡単に振り返ってみますと、

● かつて、ポールハリスが日本に来た時、会員が「何故ロータリーを作ったのですか？」と聞いたのに「寂しかったからだ」と答えた話は有名であります。その親睦と友愛からスタートしたロータリーは、会員間の物質的相互扶助として、24クラブへ発展します。クラブには会計係りがいて、会員間取引を例会のつど発表をしていました。一業種一人ということが、見事に花開きまして、

このことが、初期ロータリーの魅力となりました。

● 奉仕の概念は、1906年ドナルド・カーターによって導入されました。初めに行った社会奉仕活動は、公衆便所を作ることから始まりました。

その公衆便所ですら、百貨店組合と飲食組合と交渉すること2年の歳月を要しています。当時、市民はトイレを使うために、町のBARでの一杯の飲料や百貨店の買い物をして用をしたからであります。公衆トイレが出来ると、商売に影響するといつて反対にあつたのです。単なる寄付行為でないことが、ロータリー運動の次の魅力となりました。

● 次いで、職業奉仕の概念は、それに遅れること10年後の1915年サンフランシスコ大会において「職業人のためのロータリー道徳律」として承認されたのでした。

1910年、アーサー・シェルドンの「He profits most who serves best」
「最も良く奉仕する者、最も多く報いられる」
の言葉に代表される、職業奉仕の哲学として、また高い職業倫理として、ロータリーの魅力

を作ったのでした。

特に日本人は、東洋思想と重ね併せて、これを大事にしてきまして現在に至っています。

● 国際奉仕は1921年ロスアンゼルス大会で正式に承認となっています。

それは、国際間の理解と親善と平和を願う、グローバルな思想として、ロータリーの魅力となりました。

● 社会奉仕は、第一次世界大戦終了と同時に、苦く辛い経験から、親睦と平和の大事さを痛感したロータリアンの悲願として展開され、以来、世界社会奉仕活動として、世界中に開かれたロータリーとして、存在感を強めていきました。

創立半世紀を経て、世界を視野に入れた奉仕団体となり、さらにロータリーの魅力を増したのであります。

このように、その時代の変化とロータリアンのニーズが相まって発展をしてきたと思うのです。

一方で、いまや、職業奉仕理念は世界的には衰退をしてしまいました。

1930年、職業奉仕の父とも言われた、アーサー・シェルドンがクラブを退会しましてからは、職業奉仕理念は衰退の一途をたどりました。

退会翌年の1931年には道徳律の頒布が禁止されました。

10年後の41年にはR Iの職業奉仕委員会が廃止となり、また10年後の51年には道徳律も廃止になりました。

今から28年前の1980年にはR I細則より道徳律の文字まで削除されてしまいました。

今から21年前の1987年に「職業奉仕に関する声明」によって、「職業奉仕の実践はクラブとクラブ会員双方の責務」となって、職業奉仕は世界的に衰退をしてきまして、クラブとして個人として取り組む哲学として残つたのであります。

いまは、職業奉仕の概念は、アジアエリア・台湾・韓国・日本に存在するだけとなつてしまつたのではないのでしょうか。

今年の国際協議会に安満ガバナーエレクトが参加された折、4大奉仕のセミナーの職業奉仕セッションで真面目に聞いていたのは日本人グループだけで、外国人は関心を示さなかつたというのです。

いよいよ、人道的奉仕活動が重要視され、世界社会奉仕として、ボランティア活動が活発に展開されているのが現在です。その最たるものがポリオプラス運動なのです。

ロータリー2世紀になって、ロータリーは曲がり角にきた、いやもう曲がつてしまった、という話は、いま完全に曲がつたと、理解したうえで、クラブとしてどうするか、考える時代になつたことを、現実の問題として、受け入れなくてはならないでしょう。

そうは言うものの、ロータリーは、世界のニーズとロータリアンの考え方によって、すこしずつ変化をし、変革を余儀なくされて、100年の歴史を作つて来ました。だから、その都度魅力ある団体として、世界的な支持を得て、100年持つてきたのだという現実を理解したうえで、クラブを考える必要があります。

まさに「先人の求めしものを忘れず」「先人の後を追わなかった」のであります。だから100年の間には、いろいろの危機があり、組織の大きな危機に3回合っています。それを乗り越えて今日があると、思ってください。時間をいただいて、別に詳しく、お話をしたいと思います。

そこで、「先人の求めしものを求めよ」ということについて述べて見ます。

ラタクルR I元会長が「ロータリー哲学が忘れられている」と喝破されたことは、今、現在の皆さんの心の中に、ロータリー哲学を勉強するという気持ちがあるか、無いかということ、強く示唆されたものではないでしょうか？

そこで、哲学といえば奥が深く、「100人に聞けば100通りの哲学がある」というのがロータリーなのです。

そこで、資料のNO1「ロータリー綱領」の入り口に、その糸口があると思います。

アンダーラインをしているところを見て下さい。綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹育成することにある。～その下に、4大奉仕が列挙されています。

ところが現状は、有益な事業をすでに持っている、経済的余裕、時間的余裕、社会的地位を得て、その上に寄付を行い、奉仕の理想を鼓吹しているのではないのでしょうか？

「の」と「を」の違いが、ロータリー職業奉仕の哲学なのであります。

例えば、ポリオの接種にボランティアとして参加をします。人道的、倫理的、名事を理解して時間的、財政的余裕を手に入れて・また社会的地位をクリアして結果、職業上の利益を得ての奉仕活動であるとすれば、運動は立派なことではあるけれど、その時点で奉仕活動は完結します。

しかし、同じ奉仕活動でも、それを目的とはせず、職業奉仕の理念を学ぶ手段として捉えるところに、期限の無い奉仕として、「奉仕の理想」を求めて、職業を倫理的・道徳的に高めていくというところに喜びを見出したいというのが職業奉仕の哲学なのであります。別な言い方をすれば、職業教育奉仕とも言えるのです。繰り返します

「有益な事業の基礎として」なのです。

だから、「を」ではなく「の」であること、一字の違いではありますが、ロータリーの哲学の入り口であると考えるのであります。

ところが、現状はやっぱり、有益な事業を基礎として、という綱領が書き換えられているかのような、ボランティア団体になってしまったといえま

すし、その方が世界的には判りやすいことになってしまいました。本来哲学は不変であるべきものだと思うのですが、綱領の解釈までもが世界的には変わったのかと思わざるをえません。

だからこそ、「を」ではなく「の」ということで、綱領を考えなければなりません。

そして、例会は「人生の道場」と言った、米山梅吉の言葉と同様に、職業奉仕は人生の道場とするところに、職業奉仕があるとしなければなりません。

なぜ、ロータリーは例会をかくも重要視するのでしょうか？単なるボランティア団体であれば、なにもこんなに格調高く、時間を厳守し、出席を勧める、例会をする必要はありません。

例会は、職業奉仕の発露としても重要なのであります。特に、4大奉仕が綱領の細目として、また、今年度の規定審議会でも、クラブ細則に謳われるようになった今こそ、クラブはロータリー哲学の原点に帰るべきであると思います。

CLPを研究すればするほど、時代の流れと言ってもよいとおもいますが、ロータリーも時代が変えていくのだと実感します。

かつて、ちよんまげを切つて、刀をはずし、背広を着た時代、それでも「武士道」を胸に秘めて、まるで、職業奉仕を胸に秘める、侍のような気分です。

しかし、ロータリーの原点は、やっぱり職業奉仕ではないのでしょうか？

「決議23-34」をご覧ください。

これは、クラブとしての憲法だと、思います。

この「決議23-34」だけが、ロータリーの奉仕理念について触れられていまして、これを理解すれば、ロータリーの哲学を理解することができます。

此れが出るに及んで、I serveからWe serveへ少しずつ変化して行きました。

これは、職業奉仕派の人達は、本質的なロータリー活動は、職業奉仕であり、利益の適正配分、職業倫理高揚、自己改善、理念提唱、個人奉仕、I serveであると主張しました。

これに対して、社会奉仕派の人達は、弱者に涙することが人間の道であり、人道主義的活動、実践活動が重要で、金銭的奉仕、団体奉仕になることも止むを得ないWe serveだと主張して、おたがおに一步も譲りませんでした。両者の対立が続いて、ロータリー分裂の危機が起きました。

これを解決するために、職業奉仕と社会奉仕の理念を目指して、職業奉仕を前提としながらも、一定の条件の下では、クラブの団体奉仕活動を認めたのが決議23-34なのであります。その結果が現在の財団中心の運動になって行ったように思えます。

～ MEMO ～

例会中は携帯電話の電源を切るか
マナーモードにして下さい・・・

出席状況 第1008回 平成20年1月23日(水)

会員数	30名(内免除2名)	欠席者数	5名
出席者数	25名	メイクアップ	0名
出席率	89.0%	修正出席率	89.0%

言動はこれに照らしてから

■ 四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか